

令和4年8月17日

## 塩山地域の中学校再編の今後の実施方針に関する報告書

甲州市教育委員会

令和4年7月22日の市長からの要請に基づき、塩山地域の中学校再編の今後の実施方針について、教育委員会として協議検討してきた結果を次のとおり報告する。

先月22日、鈴木市長から「塩山地域の中学校再編の今後の実施方針について」教育委員会としての意見集約の要請を受け、8月10日の臨時教育委員会と本日の定例教育委員会において協議を行い、教育委員会として意見集約いたしましたので提案報告いたします。

教育委員会では、令和2年11月「甲州市における今後の中学校のあり方に関する報告書」において、「今回取り組む中学校の再編については、本市における中学校の適正規模と考える学級数「1学年2学級以上 全校6学級以上」を「基本方針」として位置付け、その実現に向けて、甲州市内6学区から塩山地域と勝沼・大和地域の2学区に再編し、中学校2校とすることを望むものである。」との報告をいたしました。その後、市長の中学校再編の方針表明以降、教育委員会では、勝沼中学校と大和中学校の統合、塩山地域の中学校再編について、保護者や地域住民の皆様には本市の中学校の現状や生徒数の将来推計、中学校を取り巻く教育環境など再編を必要とする方針に至った経過と今後の取り組みにご理解をいただくため説明会等を開催してまいりました。

この間、長引くコロナ禍は、説明会等の開催延期や、再編により生徒が集まることでの感染リスクの増大など保護者の不安の要因にもつながり、今回の再編推進に大きな影響を及ぼす一方、感染拡大の影響は「一人一台端末」の前倒しの整備、緊急時の在宅オンライン学習やオンライン学習に備えた通信環境整備など「教育現場におけるICT化」を急速に進めました。このことや新学習指導要領の完全実施等により、子どもたちの教育環境の充実は、これまで以上に求められております。

勝沼、大和地域におきましては、保護者や地域住民のご理解とご支援をいただく中で当初の計画どおり、勝沼中学校と大和中学校の統合を行い、本年4月から大和地域の子ども達も勝沼中学校の生徒として新たな中学校生活が始まったところであります。

現在、進めております塩山地域の中学校再編におきましては、塩山北中学区については、保護者の多数が令和7年4月の中学校の再編にご理解をいただいております。特に、現在6年生、5年生の保護者は、既に再編を見据える中で中学校進学を考えており、再編に向けたより具体的な要望や提案とともに早期の再編を要望する声も受けております。

また、保護者の一部は、松里地区から再編に関する要望書が提出されたことが今後の塩山地域の中学校再編にどのような影響があるのかを心配しており、「塩山北中学校と松里中学校は、生徒数も環境も全く別の状況にある。塩山北中の統合と松里中の統合は分けて考えていただきたい。」との要望もいただいております。

なお、塩山北中学区の大藤、神金、玉宮地区区長会からも再編については、ご理解と同意をいただいております。

一方、松里地区におきましては、松里地区区長会から地域住民の総意として松里中学校の令和7年4月の統廃合の中止を求める要望書等を複数回にわたり提出を受けております。

教育委員会では、子どもたちの教育環境充実、本市の教育行政推進のためにも、中学校再編は必要不可欠であると考えますが、現状を鑑みると、塩山北中学区と松里中学区で保護者、地域住民の中学校再編に対する意向が、全く異なる状況にあり、現在、6年生の進路決定の時期を考慮した上で、松里地区住民に令和7年4月の再編にご理解いただき、今後の準備に取り組むことは、限られた時間の中で非常に困難であります。

つきましては、教育委員会として、塩山地域の中学校再編の今後の実施方針として、教育行政に関わる施策としての視点から次の二案を提案、報告いたします。

第一案として、塩山地域四中学校を令和7年4月に再編する方針を基とする中、塩山北中学区、松里中学区の保護者、地域住民の意向を尊重し、塩山北中学校を令和7年4月に先行統合した後、松里中学校を統合する段階的再編とする。

第二案として、塩山地域四中学校を再編する方針を基とし、塩山北中学校、松里中学校及び塩山中中学校での一括再編を進めるため再編期日を改め、引き続き保護者等への説明会等に取り組む中で、出来る限り早期の再編を目指す。